

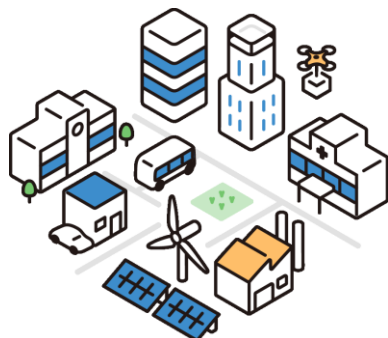


クエア海外経済オンラインセミナー

先進地域から学ぶ！ サステナブルツーリズム推進の意義

旅行者、観光関連事業者、受入地域など、観光に関わるすべての要素に配慮し、**持続可能**かつ**発展性**のある観光を目指す“**サステナブルツーリズム**”。世界中で積極的に取り組まれており、日本国内でも国を挙げて推進している一方で、具体的に取り組みが進められている地域は、いまだ一部のみです。

そこで本セミナーでは、本分野に取り組む自治体の皆さまの参考となるような最新情報や、先進自治体の取組事例をご紹介します。



日時 令和6年 **7月31日(水)** 14:00 ~ 16:00

登壇者



岡田 美奈子 氏

追手門学院大学地域創造学部教授。東京都生まれ、英国サリー大学院卒。住友商事(株)、(一財)日本ホテル教育センター、(公財)日本交通公社、(一社)日本旅行業協会、(株)JTB総合研究所、(一社)地域観光研究所を経て2023年4月より現職。和歌山大学観光学部・専門職大学院非常勤講師、同国際観光学研究センター客員フェロー。2018年度から、観光庁による持続可能な観光事業に携わる(持続可能な観光推進モデル事業、「持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)」の開発およびその普及や地域への導入支援等)。

京都府美山町 〈登壇者〉(一社)南丹市美山観光まちづくり協会 事務局長 高御堂 和華 氏
人口約3,500人の村。30年以上にわたり、観光によるまちづくりを推進し、2014年にはエコツーリズム推進全体構想が近畿地方で初めて認定。2021年、国連世界観光機関(UNWTO)にて「ベスト・ツーリズム・ディレクション」*1に選ばれる。

愛媛県大洲市 〈登壇者〉(株)KITA CEO・(一社)サ・マネジメント CMO 井上 陽祐 氏
人口減少に伴い増加した空き家を活用し、分散型ホテルを、自治体や民間企業、金融機関等が連携して推進。2022年Green Destinations Top 100*2の「文化・伝統保全」部門にて、日本で初めて世界1位に選出された。

*1 国連世界観光機関(UNWTO)が実施する国際認証。持続可能な開発目標(SDGs)に則り、観光を通じて地域の伝統・文化保全に取り組む地域が全世界から3年に1度選出される。
*2 オランダの国際的認証団体Green Destinationsが実施する国際認証。景観保全や文化財の保護、エネルギー消費量の削減等の基準を満たす世界100都市が選出される。

対象者

自治体、観光連盟・観光協会等関連団体 等

当日スケジュール

14:00 開会挨拶 クエア常務理事 南光院誠之
14:05 講演 岡田 美奈子 氏
15:00 事例① 京都府美山町
15:15 事例② 愛媛県大洲市
15:30 パネルディスカッション・質疑応答
15:50 クエア事業紹介
16:00 閉会

申込方法

事前予約制 * 参加無料

7月26日(金)までに、以下URL又は二次元コードよりお申し込みください。

事前質問も募集しております。

<https://economy.clair.or.jp/activities/seminar/>

※先着順、定員500名



問合先

(一財)自治体国際化協会 交流支援部
経済交流課 担当：加納、宮内、長田

TEL: 03-5213-1726 Email: keishin@clair.or.jp